

有明海水産資源回復技術確立事業*

ウミタケ種苗生産技術開発試験（ウミタケ資源量調査）

佃 政則・大庭元気

ウミタケは、佐賀県において重要な水産資源であることから、資源量を把握するため、生息状況調査を行ったので概要を報告する。なお、一部の調査については資源回復計画対策事業で実施した。

方法

調査は、2022年3月24,25および28日に、早津江川河口沖合に造成した漁場（20×60m、浚渫工区および盛土工区）およびその周辺、白石町沖合で過去に浚渫土を盛土して造成された漁場など計12地点でそれぞれ実施した（図1）。

それぞれの地点では、潜水士が5分間潜水し、目視により生息個数を計数し、その結果を基に1平方メートル当たりの生息個数を推定した。なお、潜水士による5分間の探

索面積は概ね25m²とした。

結果

ウミタケの生息は、12地点中6地点で確認された。中でも、早津江川河口沖合の漁場造成（盛土）を実施した地点（地点A, B）やその周辺（地点D, E）で多く、最大14.4個/m²の密度であった。過去にウミタケのねじ棒漁がおこなわれていた地点F, G, Hでは、1地点のみ生息が確認され、0.3個/m²と低い密度であった。白石町や太良町沖の地点では、4地点中1地点（地点K）で最大3個体の生息と少なかった。

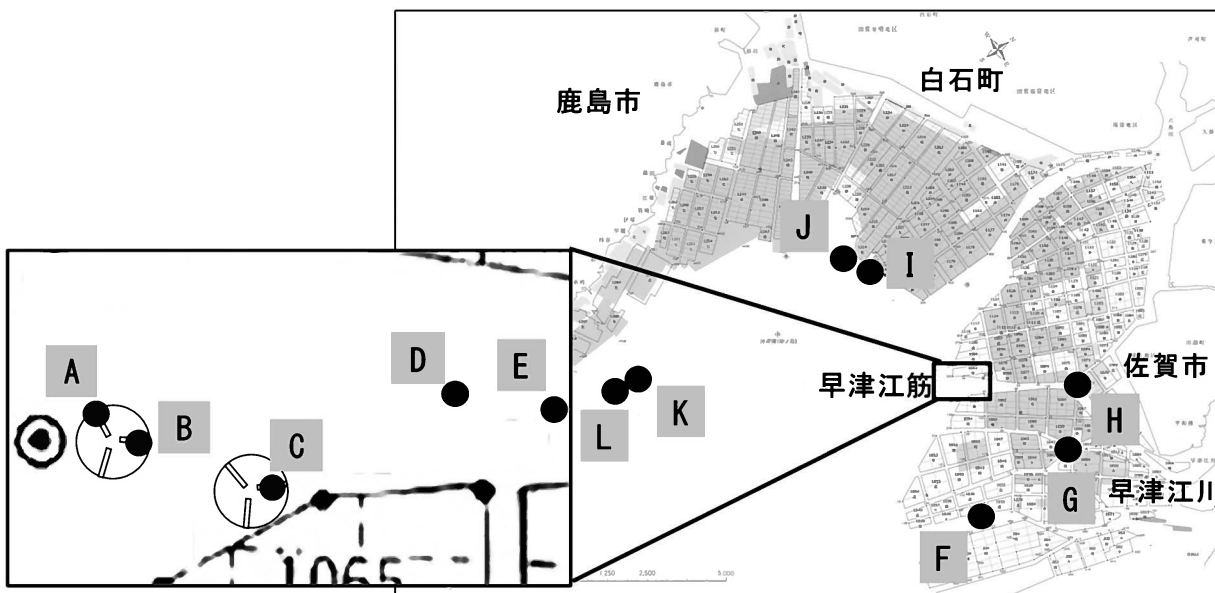


図1 調査地点

表1 各調査地点の発見個数および生息密度

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
発見個数（個）	198	29	0	140	360	7	0	0	0	0	3	0
生息密度（個/m ² ）	7.9	1.2	0.0	5.6	14.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
漁場造成の有無 浚渫または盛土	盛土	盛土	浚渫						盛土	盛土		

*国庫補助事業名：有明海漁業振興技術開発事業